



ごあいさつ

1951年の創業まもなく、秘境・黒部峡谷に挑み、全社一丸となって、
困難を極めた破碎帯を突破し、黒部川第四発電所を建設してから
およそ半世紀が経ちました。

時代の流れとともに、発電の主力は水力から火力、そして原子力へと移り変わり、
さらに近年は、エネルギー資源の獲得競争が激しさを増し、
地球温暖化防止が喫緊の課題となるなど、

エネルギーをとりまく環境は大きく変化しています。

しかしながら、いかに時代が変わろうとも、電気を安全かつ安定的にお届けして、
お客さまの豊かな暮らしや、経済活動をしっかりと支え、社会の発展に
貢献していきたいという私どもの思いは、いささかも変わることはありません。

これからも、社会の大切なインフラを預る責任あるエネルギー事業者として、
グループの総力を結集して低炭素社会の実現に向けて積極的に取り組みながら、
お客さまとともに、未来に向けて力強く前進を続けてまいりたいと存じます。

もとより、美浜発電所3号機事故の反省と教訓を胸に刻んで、
しっかりと安全を確保し、また、コンプライアンスを徹底するなど、

企業としての社会的責任をきっちりと果たしながら、

皆さまから一層信頼していただける関西電力グループとなれるよう、
最善を尽くしてまいります。

取締役社長 森 詳介